

RSA® ARCHER® RESILIENCY MANAGEMENT

ビジネスレジリエンシーのユースケース

課題

Oxford Metricalによると、今後5年間に83%の企業で株価が20～30%下落する危機に直面します。BC（ビジネス継続性）チームとIT DR（災害復旧）チームは、これまで以上に経営陣やビジネスオーナーと緊密に連携し、組織の回復性を高め、システム停止が組織の評判、財務、法的地位、社員、顧客に与える影響を最小限に抑える必要があります。回復性を高めるとは、自然災害や広報関連の失策、あるいはサイバー攻撃などが発生したときに、悪条件に対応し、中間点で軌道修正を行い、システム停止の悪影響を回避する、ということが当然のこととしてできる組織を構築することを意味します。適切なBR（ビジネスの回復性）プログラムでは、各種のアクティビティがビジネス全体の目標と戦略に沿っている必要があります。

多くの組織では、BC計画とIT DR計画を管理する職務が異なっています。ビジネスプロセスを担当するのはBCの役割で、ITシステムのDRを扱うのはITグループ、他にインシデント管理のチームとプロセス、危機イベントを管理する危機管理チームがある、という具合です。今日の複雑なグローバル組織の継続的な進化にともない増大していく課題を考慮した場合、このような別個のグループ間での連携は、ビジネス全体の回復性を高めるうえで必須となります。

概要

RSA® Archer® Resiliency Managementは、整合性と一貫性のある自動化されたアプローチを提供し、BCとIT DRという相互に関連するが職務が異なる両者間での連携を可能にします。これにより、進行中の業務を危機的状況においても保護するための迅速な対応が可能になるとともに、回復性の組織内部への構築を開始することもできます。RSA Archerを使用することで、BCとIT DRを管理し、組織のビジネス優先度に沿った継続性計画を作成することができます。このソリューションでは、リスク評価とBIA（事業影響度分析）を、他のGRC情報と連携させることができます。さらには、インシデント、BC、DR、危機に関する計画の策定、テスト、実行のプロセスを業界標準に従って自動化することで、一貫性のある綿密な対応を可能にし、リスクと影響を最小限に抑えることができます。

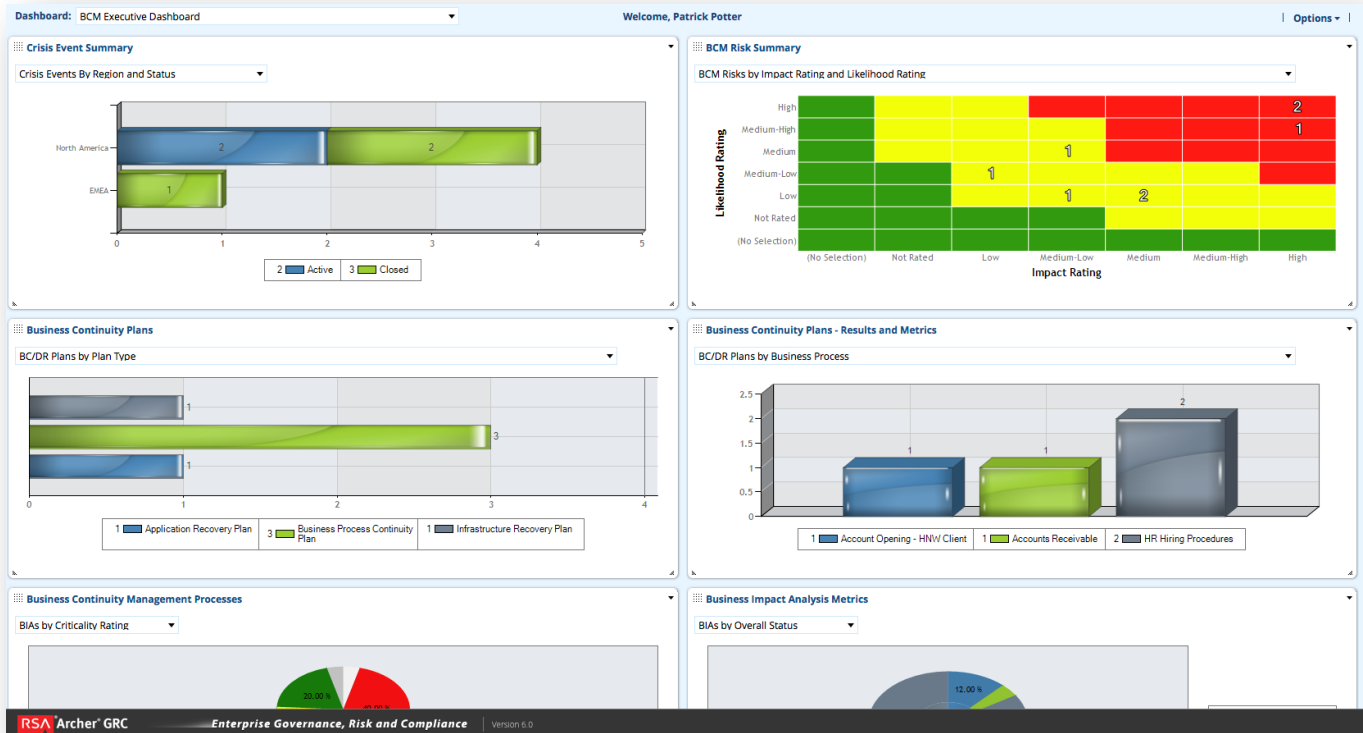
主な特徴

- BC/DR計画のドキュメント化、テスト、承認、危機発生時のアクティブ化を実行するための自動化されたワークフロー
- 危機発生時に通知を送信し、緊急連絡網を発効するための連絡先リストの一元管理

主なメリット

RSA Archer Resiliency Managementでは、以下を行うことができます。

- 危機イベントのレポート作成と管理を行ったり、緊急通知を送信して該当する担当者に危機情報を伝達したりするほか、事業継続/災害対策(BC/DR)プランをアクティブ化して、停止した業務、設備、ITインフラストラクチャを復旧させる
- インシデント、リスク評価、BIA、復旧計画、危機イベントの結果などの情報を使用して、組織の各ユニット（部門やビジネスユニット）とインフラストラクチャ（プロセス、施設、ITアプリケーション、重要な記録）内に回復のための措置を組み込む
- エンタープライズリスク管理、インシデント管理、サードパーティ管理など他のGRCプロセスと統合して、回復の取り組みを組織全体の目標および優先課題と一致させる



詳細情報

EMCの製品、サービス、ソリューションがお客様のビジネスやITの課題の解決にどのように役立つかの詳細については、担当営業または認定リセラーまでお問い合わせください。あるいは、当社のWebサイト (www.rsa.com) をご覧ください。RSA Archerの既存のお客様でライセンスについてご質問がある場合、もしくは、追加情報が必要な場合には、弊社営業担当までお問い合わせください。